日本医師会　第３１回「指導医のための教育ワークショップ」

趣旨

わが国の医学教育は、新しい医学・医療の進歩と社会のニーズに対応するため、カリキュラムの改善、共用試験（ＣＢＴ・ＯＳＣＥ）の標準化などの取り組みが重ねられている。

このような状況下、医学部・医科大学で地域の医療機関における卒前臨床実習がカリキュラムに組み入れられ、その重要性が増すとともに、さらに医師臨床研修制度においても地域医療研修が必修とされている。

このため、地域医療を担う医師による、医学生や研修医に対する指導が求められていることから、指導医としての教育能力を身につけることを目的として、日医会員のためにワークショップを開催する。

本ワークショップでは、教育目標の設定、教育方法の立案および評価法の策定が重要であることを強調する。

なお、平成２１年４月より、本ワークショップをはじめとする医師の臨床研修に係る指導医講習会を受講したことが医師臨床研修制度における指導医の必須要件となっている。

主　催　日本医師会

テーマ　研修医へのカリキュラム立案

日　時　2019年7月13日（土）９時00分 ～ 7月14日（日）16時00分

会　場　ホテルフクラシア晴海
〒104-0053 東京都中央区晴海3-8-1　TEL03-3533-7111

方　法　１泊２日の合宿形式によるワークショップ（講習時間１６時間１５分）

参加者　２８名
(1)都道府県医師会推薦参加者（７年以上の臨床経験を有する者）
(2)その他
＊日本医師会員を優先します。

申込方法　都道府県医師会を通じて申し込む。

参加費用　日本医師会員　４万円
都道府県医師会員または郡市区医師会のみの会員　５万円
非会員　　６万円
＊７月１３日の昼食・夕食・宿泊費、７月１４日の朝食・昼食費を含みます。（会場までの旅費は本会では負担しません。）
＊事前にお振込みいただき、当日欠席した場合でも返金いたしません。

修了証　日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」を修了した者に、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」（平成 16 年 3 月 18 日付け医政発第 0318008 号）に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を発行する。

日本医師会生涯教育制度　１２．５単位・８カリキュラムコード
カリキュラムコード
「1・医師のプロフェッショナリズム」、「4・医師－患者関係とコミュニケーション」、「5・心理社会的アプローチ」、「7・医療の質と安全」、「10・チーム医療」、「12・地域医療」、「13・医療と介護および福祉の連携」、「0・その他」

ワークショップスタッフ

ディレクター
松原　謙二　　日本医師会副会長
羽鳥　　裕　　日本医師会常任理事

チーフタスクフォース
福井　次矢　　聖路加国際大学学長、聖路加国際病院院長

タスクフォース
内田　　博　　松江赤十字病院　麻酔科部長
倉本　　秋　　一般社団法人高知医療再生機構理事長
高村　昭輝　　金沢医科大学医学部　医学教育学講座　講師
羽金　和彦　　宇都宮市保健所　保健医療監

事務局
日本医師会生涯教育課
〒113-8621　東京都文京区本駒込 2-28-16　TEL 03-3942-6139（直通）